

早期検診で乳がんの撲滅を訴える10月のピンクリボン運動が31日で終了した。その前日の30日夕、戸田市役所近くで、人間ドックなどがあるある戸田中央総合病院・総合健康管理センターの東側壁面に「乳がん検診で笑顔な暮らしを」と訴えるキャンペーン映像が投影された。

戸田市内は星空に恵まれ投影は午後6時に始まり約30分で終了。通行人や病院関係者など約130人が集まった。戸田中央医科グループの中村隆俊会長も見学した。

約5分間の投影を3回繰り返し「早期検診が早期発見、早期診断、早期治療につながる。検診を受けよう」と訴えた。かつて市役所と戸田中央総合病院を結ぶコースで開催されたピンクリボンウォークの懐かしい映像が使われた。

製作した同医科グループ新座病院の検査技師主任、清水友美さん(46)は「今年はコロナ禍でピンクリボンウォークもできなかった。小さなことでもいい、自分ができることで発信しようと思った」と話した。毎晩、寝る前の2時間かけ、10月の3週間で仕上げたという。

母親と一緒に見た戸田第一小学校4年生の坂井玲衣さん(9)は「世界の女の人のために乳が

検診で早期治療を

ピンクリボン 戸田中央病院で壁面投影

「乳がん検診は大事だと思う。私もお母さんを守ってあげたい」と話していた。



「乳がんは早期検診で笑顔な暮らし」と呼び掛ける投影—30日午後6時すぎ、戸田市